



北陸先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科（融合科学共同専攻）

博士後期課程
学生募集要項

令和9年4月入学

北陸先端科学技術大学院大学
（融合科学共同専攻）

目 次

I. 巻頭	
博士後期課程入学者選抜試験日程	1
融合科学共同専攻について	2
アドミッション・ポリシー	2
目指す人材像	3
重要なお知らせ	3
ディプロマ・ポリシー	3
教育理念・目的	3
3つの挑戦的なイノベーションの枠組み	4
4つの「力」	4
主任研究指導教員	5
II. 入学者選抜	
1. 一般選抜	7
2. 特別選抜	
2-1. 海外在住者対象特別選抜	10
III. 出願資格	13
IV. 出願書類	16
V. 重要事項	
1. 出願及び受験等に関する注意事項	22
2. 受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の事前相談	23
3. 入学時納付金	23
4. 長期履修制度	23
5. 安全保障輸出管理	24
6. 個人情報の取扱い	24
VI. 所定の様式	

各選抜に関する全ての事項は、出願者が学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、訂正等があれば本学ホームページ等にてお知らせします。

[問合せ先] 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1
北陸先端科学技術大学院大学 教育支援課入試係
Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp TEL:0761-51-1177
問合せ・窓口受付時間:9時~17時まで(土日・祝日等を除く)

博士後期課程入学者選抜試験日程

◆令和9年4月入学

試験区分	出願期間		試験期日 (本学が指定した1日)	合格者 発表日
1. 一般選抜	第1回	6月15日(月)～25日(木)	8月17日(月)～24日(月) (土・日及び祝日等を除く)	9月4日(金)
	第2回	10月20日(火)～11月4日(水)	12月7日(月)～18日(金) (土・日及び祝日等を除く)	令和9年 1月26日(火)
2. 特別選抜 2-1. 海外在住者対象特別選抜	事前提出締切：11月12日(木) 出願期間：11月4日(水)～26日(木)		面談及び書類選考	

* 修士の学位を有しない場合等、出願前に入学資格審査が必要となる場合があるので、注意してください。

* 上記及びその他詳細について、「Ⅱ. 入学者選抜」で必ず確認してください。

◆令和9年10月入学

令和9年4月入学で定員を満たさなかった場合に実施します。実施する場合はHPや募集要項にて案内します。

融合科学共同専攻について

北陸先端科学技術大学院大学と金沢大学は、将来が見通しにくい現代社会において、卓越した発想と行動力を基に、社会を力強く導いていけるような「科学技術イノベーション人材」を養成するため、融合科学共同専攻を設置しました。

イノベーションの源泉である「新たな知」の創造は、既存の科学分野を超えた、複数の科学分野の“融合”から生まれるとの考えから、異なる専門分野における学びにも積極的に挑戦する“異分野融合型大学院教育”を2大学共同で実施します。

○特徴

- ・本学と金沢大学との共同教育課程により、両大学で科目を履修します。
- ・「3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）」（4頁参照）の下で教育課程を履修します。
- ・本学と金沢大学の教員から教育研究についての指導を受けます。指導体制については、本学に所属する教員を主任研究指導教員（5頁参照）として配置し、金沢大学に所属する教員を副主任研究指導教員として配置します。両大学の教員が連携して指導を行う体制により、学生個人ごとにきめ細やかな指導を行います。
- ・金沢大学の図書館等の施設・設備を利用することができます。
（一部の施設設備については利用制限が設けられている場合があります。）
- ・本学と金沢大学の連名による学位が授与されます。
（博士後期課程からの入学者は、修了要件として金沢大学において10単位以上を修得する必要があります。）

○融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）

入学者選抜試験の成績優秀者に対し、次のとおり奨学金を支給します。

給付額：月額10万円　給付期間：3年間

※融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）の支給の可否については、合否結果通知の際にお知らせします。

アドミッション・ポリシー

博士後期課程では、修士又は博士前期課程等で修得してきた分野の専門知識のほか、専門が異なる分野にも多角的・論理的思考力をもって他者との協奏的活動に取り組み、グローバルに活躍しようとする姿勢を備え、複雑で困難な問題を分野融合の力で発見及び解決し、社会の発展のための新しい高度な価値を積極的に創造しようとする強い意欲をもつ者を受け入れる。

【入学者選抜の基本方針】

入学者選抜試験は構成大学ごとに行うものとし、上記の求める学生像を踏まえて、修士課程、博士前期課程等で行ってきた研究内容及び今後の研究計画に関する口頭発表等により、修士課程、博士前期課程等で修得してきた分野の基盤的専門知識に加え、分野融合による社会の発展のための新しい高度な価値を創造しようとする意欲を評価して選抜する。

目指す人材像

グローバル社会のニーズや動向に応じて、独創的な発想と卓越した研究力を基に、科学技術イノベーションの基礎を生み出し、社会実装できる人材

重要なお知らせ

○本籍を置く大学について

・本募集要項により本学に出願し、入学手続を行った場合、本学及び金沢大学に在籍することとなりますが、本籍を置く大学は本学（北陸先端科学技術大学院大学）となり、主任研究指導教員は本学の教員となります。

また、授業料等の納付、奨学金の申請その他の各種手続については、本籍を置く大学となる本学で行うこととなります。

○金沢大学が開講する科目について

・金沢大学が開講する科目については、金沢大学のキャンパスに通学して履修することを原則としますが、メディアを利用した遠隔講義配信システムの活用や、集中講義形式による開講など、通学の負担を軽減する仕組みを導入しています。

○本学と金沢大学の融合科学共同専攻選抜試験を併願する場合の注意について

・融合科学共同専攻は2つの構成大学（本学及び金沢大学）が1つの教育課程を共同で運営するため、構成大学の1つに入学手続を完了した者は、他の構成大学の入学者選抜試験に合格しても入学手続を行うことはできません。

ディプロマ・ポリシー

本共同専攻では、博士前期課程においては「グローバル社会のニーズや動向を察知し、様々な科学的知見と先端科学技術を基に、科学技術イノベーションに協奏的・共創的に貢献できる人材」を、博士後期課程においては「グローバル社会のニーズや動向に応じて、独創的な発想と卓越した研究力を基に科学技術イノベーションの基礎を生み出し、社会実装できる博士人材」を育成することを教育目標とする。

博士後期課程では、“科学を融合する方法論”を探求・実践した上で、「学修成果」として下記に掲げる1)～5)並びに6)又は7)の能力・資質（コンピテンス）を修得するとともに、所定の期間在学し、かつ所定の単位を修得した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に博士の学位を授与する。このとき、1)～5)かつ6)を修得した学生に対しては「博士（融合科学）」の学位を、1)～5)かつ7)を修得した学生に対しては、その分野によって「博士（理学）」又は「博士（工学）」の学位を授与する。

- 1) 科学技術イノベーションに関連する社会課題を自ら発見し、かつ構造化した上で課題解決できる能力
- 2) 自分の専門分野に関する最先端の知識と実践力
- 3) 他分野の知見、技術を自分の専門分野に活用できる能力
- 4) 国際会議や海外共同研究において、外国語で研究成果を発表し議論できる能力
- 5) 科学・技術・生命に対する実践的な研究者倫理観
- 6) 自分の専門分野と他分野とを融合し、新たな知を創出できる能力
- 7) 自分の専門分野を核とし、新たな知を創出できる能力

教育理念・目的

科学技術イノベーション人材の養成に当たり、両大学は、イノベーションの源泉は「新たな『知』の創造」にあると定義した上で、それを実現するための一貫した教育理念として、「融合科学の促進」を掲げています。

「融合科学の促進」を「科学技術イノベーションに関連する複雑な社会課題の解決に向けて、既存の科学分野を超える枠組みの下で、“科学を融合する方法論”を探究・実践しながら、複数の科学分野の融合を促進させること」と定義し、これに基づいた教育体系を構築しています。

○3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）

教育理念を実現するためのフレームワークとして、本共同専攻には、特にコース等を設けずの専攻のみによって構成することとし、一方で、複雑な社会課題の解決に向けた既存の科学分野を超える枠組みとして、両大学の強み・特色となる分野を結集し、次に掲げる3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）を設定しています。

I：ライフイノベーション（健康的で質の高いライフスタイルの創出）

[キーワード]

個々の健康的なライフスタイルに資する生物学的・生体的機能の計測・解明・制御と、その応用

II：グリーンイノベーション（環境に適合した次世代型〈材料・デバイス・エネルギー〉の創生）

[キーワード]

自然エネルギー・再生可能エネルギーの創出、貯蔵、輸送／新素材やナノテクノロジーを利用した省エネルギーデバイス開発

III：システムイノベーション（科学技術と人や社会とが調和した未来社会の創造）

[キーワード]

ビッグデータや人工知能（AI）を活用した知的システムの開発／生物をヒントにしたシステム・機械の開発／自然環境や文化的環境等を踏まえた社会環境改善

○4つの「力」（フォース）

本共同専攻では、“科学を融合する方法論”の探求・実践に当たって、自らの研究分野を超えた「異分野」に飛び込み、異なる知識背景を持つ他者とコミュニケーションできる「力」を身に付ける必要があると確信します。その「力」を一様に定義することは困難ですが、その通底する基礎として、次に掲げる4つの「力」（フォース）を設定しています。

Force 1：データ解析する「力」

融合しようとする各科学分野の視点で、現象を表すデータを多角的に解析する「力」

Force 2：モデル化する「力」

融合分野の基礎に矛盾しないモデルを提唱する「力」

Force 3：可視化する「力」

他分野の人にも分かりやすい“図”を呈示する「力」

Force 4：デザインする「力」

他分野及び社会とのインタラクションを通して自己の提案を改変しながら、問題を解決していく「力」

主任研究指導教員

・青木 利晃 教授

[研究分野] ソフトウェア工学、ソフトウェア科学、形式手法、形式検証、テスト
[キーワード] モデル検査、定理証明、形式仕様記述、組込みシステム、車載システム、産業応用

・池田 心 教授

[研究分野] ゲーム情報学
[キーワード] ゲーム木探索、教師あり学習、強化学習、遺伝的アルゴリズム、パズル、コンテンツ生成、人間らしいゲームAI

・松見 紀佳 教授

[研究分野] エネルギー材料の創出研究
[キーワード] リチウムイオン2次電池、ナトリウムイオン2次電池、リチウム空気電池、スーパーキャパシター

・由井 隆也 教授

[研究分野] コラボレーション技術、CSCW、創造性、知識科学
[キーワード] 創造性支援、コミュニティ支援、インタラクション設計、VR/AR応用、都市デザイン、人間中心AI、感情デザイン

・ホ アン ヴァン 教授

[研究分野] ロボティクス
[キーワード] ソフトロボティクス、柔軟な触覚装置

・白井 清昭 教授

[研究分野] 自然言語処理、機械学習、知識獲得、人工知能
[キーワード] 統計的自然言語解析、ウェブアクセス支援、自然言語処理応用システム

・筒井 秀和 准教授

[研究分野] 分子生物学、生理学、生物物理学、細胞計測
[キーワード] 神経細胞、分子センサー、次世代計測技術

・西村 俊 准教授

[研究分野] 触媒化学、固体触媒、合金触媒、バイオマス変換
[キーワード] 資源・エネルギーの有効利用技術、金属ナノ粒子触媒、固体酸塩基触媒、新触媒の創成、触媒作用機構の解明

Ⅱ. 入学者選拔

1. 一般選拔

2. 特別選拔

2-1. 海外在住者対象特別選拔

1. 一般選抜

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
先端科学技術研究科	融合科学共同専攻	令和9年4月入学	5名(注1)

(注1) 特別選抜の募集人員を含みます。

2. 出願資格

「Ⅲ. 出願資格 (13 ページ)」で確認してください。

3. 出願期間

出願期間は次のとおりです。出願期間内に「4. インターネット出願登録」を行ってください。

試験区分		出願期間	
一般選抜	令和9年4月入学	第1回	令和8年6月15日(月)～25日(木)
		第2回	令和8年10月20日(火)～11月4日(水)

※令和9年4月入学の第1回～第2回とも出願することは可能ですが、出願手続はその都度行う必要があります。

4. インターネット出願登録

インターネット出願登録前に出願者はあらかじめ希望主任研究指導教員(5 ページ参照)に連絡をとり、研究室受入れの内諾を得てください。内諾には数週間必要なため、早めに対応してください。

ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

本選抜はインターネットで出願登録を行います。

インターネット出願登録は本学ホームページ(入学案内→インターネット出願)のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細については、インターネット出願登録サイトを参照してください。

[インターネット出願登録サイト URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html>

(1) 検定料

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	・ 検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・ 納付された検定料は原則返還しません。 ・ 国費外国人留学生は納付不要です。

※国費外国人留学生は、インターネット出願システムでの検定料納付手続不要のため、出願締切の前日までに電子メールで教育支援課入試係 (Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp) に連絡してください。なお、他大学に在学している国費外国人留学生は、証明書（奨学金支給期間が明記されたもの）も併せて添付してください。

(2) アップロードする書類

インターネット出願登録の際、証明書、任意の様式及び所定の様式等をアップロードする必要があります。

5. 出願書類

「IV. 出願書類（16 ページ）」で確認してください。

6. 受験票の発送

「4. インターネット出願登録」の手続が完了し、出願を受理した時は、本学から受験票及び受験上の注意等をそれぞれの出願締切後に発送します。出願を受理したかについての問い合わせには回答しません。受験票等が試験期日の1週間前までに届かない場合は、教育支援課入試係 (Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp) まで問い合わせてください。

7. 試験期日及び選抜方法

(1) 試験期日及び場所

試験区分に対応して、次に定める期日のうち、本学が指定した1日に**本学（石川キャンパス）**で試験を行います。試験日時は、発送する受験票で通知します。

試験区分		試験期日	
一般選抜	令和9年4月入学	第1回	令和8年8月17日(月)～24日(月)
		第2回	令和8年12月7日(月)～18日(金)

(注) 土・日及び祝日等を除く。

(2) 選抜方法

試験は、面接（研究概要、研究計画等に関する口頭発表及び口頭試問）により次のとおり実施します。

口頭発表	口頭試問	計
20分	30分	50分

口頭発表の際にノートパソコンを使用する場合は、各自で持参してください。プロジェクターは本学で準備します。発表用資料を面接委員に紙で配付する場合は、A4サイズ（様式自由）で当日4部持参してください。

(3) 合否判定方法

面接試験の結果及び提出書類により、総合判定します。

8. 合格者の発表等

次のそれぞれの合格者発表日に、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載するとともに、合格者のみに結果通知書を発送します。

併せて、融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）の支給の可否を記載した文書を発送します。

また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分			合格者発表日	入学手続期限
一般選抜	令和9年4月入学	第1回	令和8年9月4日(金)	令和8年11月下旬予定
		第2回	令和9年1月26日(火)	令和9年2月下旬予定

9. その他の重要事項

「V. 重要事項（22 ページ）」を必ず確認してください。

2-1. 海外在住者対象特別選抜

出願時点で海外に在住している者で、研究意欲の高い学生に対し、進学の手を拓けることを目的として、渡日せずに受験できる海外在住者対象特別選抜を実施しています。

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
先端科学技術研究科	融合科学共同専攻	令和9年4月入学	若干名

2. 出願資格

「Ⅲ. 出願資格 (13 ページ)」で確認してください。なお、出願時点で海外に在住している必要があります。

3. 出願手続

次の①～③の順に、出願手続を行ってください。

①内諾

出願手続前に出願者はあらかじめ希望指導教員 (5 ページ参照) に連絡をとり、研究室受入れの内諾を得てください。内諾には数週間必要なため、早めに対応してください。

ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

②出願書類事前提出

次の締切までにデータ化 (PDF 化) した出願書類一式を電子メールで本学教育支援課入試係 (Email:nyushi@m1.jaist.ac.jp) 宛に送付してください。その後、出願書類に不備等が無いかを確認し、その結果を本人宛に連絡します (出願書類は「Ⅳ. 出願書類 (16 ページ)」を参照すること)。

試験区分	事前提出締切日
令和9年4月入学	令和8年11月12日(木)

※電子メールの件名を「(名前) TDS D 海外在住者対象特別選抜 出願書類事前提出」にすること。

※電子メールで出願書類一式を提出する際、出願書類 (検定料払込証明書を含む) のみを提出し、それ以外の書類は提出不要。

※この事前提出は必須ではないが、出願書類に不備があった場合は出願不受理となるので、なるべく早めに事前提出し、確認を受けることが望ましい。

※事前提出締切後に提出された出願書類のデータは受け付けないので、③により直接原本を提出すること。

③出願

(1) 出願方法

出願書類の原本を一括して封筒（出願者の氏名・住所を明記すること）に入れ、DHL、EMS 等で教育支援課入試係へ郵送してください。

[送付先] Admissions Section
Japan Advanced Institute of Science and Technology (JAIST)
1-1 Asahidai Nomi Ishikawa 923-1292 JAPAN

※DHL、EMS 等で郵送する際、追跡番号を教育支援課入試係（Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp）宛に連絡してください。

(2) 出願期間

試験区分	出願期間（期間内の消印有効）
令和9年4月入学	令和8年11月4日(水)～26日(木)

4. 出願書類

「IV. 出願書類（16 ページ）」を確認してください。

5. 選抜方法

出願を受理した場合、専門分野等を考慮した上で本学で面談担当教員を決定します。

その後、面談担当教員から受験者へ連絡しますので、面談の日程、場所、方法等について相談の上、決定してください。面談は、主に WEB コミュニケーションツール等を用いて行い、詳しい研究内容・学生生活等について話し合います。

面談の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

6. 合格者の発表等

次の合格者発表日に、受験者全員に合否結果を通知します。

併せて、融合科学共同専攻対象奨学金（給付型）の支給の可否を通知します。

ホームページへの掲載は行いません。また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分	合格者発表日	入学手続期限
令和9年4月入学	令和9年1月26日(火)	令和9年2月下旬予定

7. その他の重要事項

「V. 重要事項（22 ページ）」を必ず確認してください。

Ⅲ. 出願資格

出願資格

入学希望月の前月末日までに次のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第3項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。)を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
〔 国際連合大学：国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された大学 〕
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学において当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの)
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

※上記出願資格(1)～(6)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありません。

【入学資格審査】

出願資格(7)、(8)により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書等を本学ホームページ(入学案内→学生募集要項)からダウンロードし、直接入力・印刷の上、次の期日までに審査書類を提出してください。

試験区分			提出締切日(必着)
令和9年4月入学	一般選抜	第1回	令和8年5月29日(金)
		第2回	令和8年8月27日(木)
	海外在住者対象特別選抜		令和8年10月2日(金)

入学資格審査の詳細については入学資格審査要項を参照してください。

[入学資格審査 URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html>

審査結果通知書は、出願締切の1週間前までに本人宛に通知します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係(Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp)まで問い合わせてください。入学資格を

認められた場合に限り、出願することができます。

IV. 出願書類

出願書類一覧は次のとおりです。出願にあたっては、志願する試験区分の必要書類の詳細を必ず確認してください。

	必要書類	試験区分	
		一 般	海 外 在 住
本学所定様式			
(1)	入学願書	—	○
(2)	特定類型該当性の自己申告書	○	○
(3)	誓約書	○	○
(4)	学校教育等履歴書	△	○
(5)	志望理由書	—	○
任意様式			
(1)	本学入学前の研究概要	○	○
(2)	本学入学後の分野融合を含む研究計画	○	○
証明書類等			
(1)	顔写真	○	—
(2)	成績証明書	○	○
(3)	修了（見込）証明書	○	○
(4)	修士の学位授与（見込）証明書	△	△
(5)	語学能力証明書	△	△
(6)	検定料払込証明書	—	○
(7)	研究室受入文書	○	○
(8)	国費留学生証明書	△	—
(9)	外国政府派遣留学生証明書	△	△
(10)	戸籍抄本等	△	—

○：必須、△：該当者のみ、□：希望者のみ、—：不要

一 般 一般選抜

海外在住 海外在住者対象特別選抜

本学所定様式

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードし、直接入力してください。

[所定の様式ダウンロードURL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-yugod.html>

(1) 入学願書

海外在住者対象特別選抜用を使用すること。写真は加工しないこと。

(2) 特定類型該当性の自己申告書

- (3) 誓約書
内容を確認の上、日付及び氏名を手書きで記入すること。
- (4) 学校教育等履歴書
対象：大学に限らず、外国において学校教育を受けた者。
- (5) 志望理由書
書類は11ポイント以上のフォントを用いA4判片面1枚に収めること(補足資料の添付は不可)。

任意様式

- (1) 本学入学前の研究概要
これまでに行った研究について、A4判片面印刷で4枚以下(字数は自由)にまとめたもの。研究に関する論文発表等があれば、本文の後にリスト等を付記してもよい(総枚数に含む)。日本語又は英語で記入すること。なお、各ページ右上に氏名及びページ番号を記入すること。
- (2) 本学入学後の分野融合を含む研究計画
本学入学後において取り組みたい分野融合を含む研究計画について、A4判片面印刷で2枚以下(字数は自由)にまとめたもの。日本語又は英語で記入すること。なお、各ページ右上に氏名及びページ番号を記入すること。

証明書类等

- (1) 顔写真
出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー顔写真データ(jpeg, jpg, png, bmpのいずれかのファイル形式で最大2MBまで)を用意し、インターネット出願登録サイトに従いアップロードすること。
※本人確認に使用するため、写真の加工はしないこと。
- (2) 成績証明書 **※写し(コピー)不可**
- (3) 修了(見込)証明書 **※写し(コピー)不可**
出願資格を満たす出身大学院の学長又は研究科長が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文(日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める)を併せて提出すること。
出願資格(7)、(8)のいずれかに該当する者は提出不要。
中国の大学を修了(見込)の場合
中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する認証書が必要。詳細は「中国の大学を修了(見込)の方(20ページ)」を確認すること。

《試験区分別の注意事項》

一 般

紙の証明書の写真データを PDF 化したものでは不鮮明のため、複合機などでスキャンした PDF をアップロードすること。

※合格者は結果通知日から 1 か月以内に本紙（紙媒体）を郵送により提出すること。最終的に提出が無い場合は入学を認めない。

(4) 修士の学位授与（見込）証明書 ※写し（コピー）不可

対象：出願資格（2）（3）（4）（5）該当者

出身大学院の学長又は研究科長が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文（日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める）を併せて提出すること。修了証明書等で学位取得が確認できる場合は提出不要。

中国の大学を修了（見込）の場合

中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する認証書が必要。詳細は「中国の大学を修了（見込）の方（20 ページ）」を確認すること。

《試験区分別の注意事項》

一 般

紙の証明書の写真データを PDF 化したものでは不鮮明のため、複合機などでスキャンした PDF をアップロードすること。

※合格者は結果通知日から 1 か月以内に本紙（紙媒体）を郵送により提出すること。最終的に提出が無い場合は入学を認めない。

(5) 語学能力証明書 ※写し（コピー）可

対象：日本以外の大学院を修了した者

英語又は日本語の語学能力の確認のため、以下の証明書のうちいずれか 1 つを提出すること。

英語	<ul style="list-style-type: none">• TOEIC Listening & Reading Test• TOEFL iBT• IELTS Academic
日本語	<ul style="list-style-type: none">• 日本語能力試験（JLPT）• ビジネス日本語能力テスト（BJT）• 日本留学試験（EJU）

(6) 検定料払込証明書 ※写し（コピー）可

検定料 30,000 円を在住国の金融機関から下記の口座まで送金し、払い込んだことが分かる書類を提出すること。

また、必ず本人名義で振り込むこと。

Bank Name	The Hokuriku Bank, Ltd.
Branch Name	Kanazawaminamichuo Branch
Branch Address	1-32-38, Teraji, Kanazawa, Ishikawa, Japan

Beneficiary	Japan Advanced Institute of Science and Technology
Type of Account	Ordinary savings account
Account Number	6037485
SWIFT(BIC) Code	RIKBJPJT

(注意事項)

送金手続はできるだけ早く行うこと。銀行で手続をする際、コルレスチャージ(支払銀行手数料)は「**支払人負担**」です。誤って「受取人負担」にすると、送金額から手数料が差し引かれ、検定料入金額が不足します(この場合、出願は受理しません)。

なお、国費外国人留学生は検定料不要。

(7) 研究室受入文書

【様式任意】希望主任研究指導教員の研究室受入れの内諾を得たことが分かる電子メール等の文書

(8) 国費留学生証明書 ※写し(コピー)不可

対象：他大学に在学している国費外国人留学生(文部科学省)

当該大学が作成したもので、奨学金支給期間が明記されているもの。

(9) 外国政府派遣留学生証明書 ※写し(コピー)可

対象：外国政府派遣留学生

外国政府派遣留学生であることを証明又は確認できるもの。

(10) 戸籍抄本等

対象：婚姻等により証明書と氏名が異なる者

旧氏名、新氏名が確認できるもの。

(注)「写し(コピー)不可」について

一 般

証明書は写し(コピー)ではなく、原本をアップロードしてください。なお、出身大学院による厳封がされているものは開封してアップロードしてください。その場合でも、合格後の本紙提出時には出身大学院による厳封された証明書をあらためて提出する必要があります。

原本のアップロードができない場合は、Certified True Copy(原本から正しく複製されたものであることが出身大学院又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの)をアップロードしてください。

海外在住

証明書は写し(コピー)ではなく、原本を提出してください。なお、偽造防止処理のない用紙に電子押印された証明書の場合、出身大学院による厳封がされていないものは受理しません。

原本の提出ができない場合は、Certified True Copy(原本から正しく複製されたものであることが出身大学院又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの)を提出してください。

中国の大学を修了（見込）の方

中国の大学を修了（見込）の方は、「成績証明書」、「修了（見込）証明書」及び「修士の学位授与（見込）証明書」について、以下のとおり提出してください。

(1) 修了者

① 申請方法

出願者自身が中国高等教育学生信息网（CHSI）の WEB サイトにアクセスし、出願締切日までに電子認証メールが CHSI から教育支援課入試係に直接送信されるように申請してください。

[電子認証メール送信先：nyushi@ml.jaist.ac.jp]

CHSI から直接本学に届くメールに限り有効です。出願者本人が受信したメールの転送や紙媒体による提出は、出願書類として認めません。

② 申請（提出）書類

次の認証書（英文）をすべて提出してください。

成績認証書	Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript
学歴認証書	Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate
学位認証書	Verification Report of China Higher Education Degree Certificate

(注意事項)

- ・出願締切日までに、本学で電子認証メールが受信できない場合は、出願を受理しません。
- ・出願者が申請してから認証書が発行されるまで長期間要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。
- ・認証書を一度提出している場合、内容に変更がなければ、令和 8 年度に実施する入学者選抜試験への出願に限り、認証書を再提出する必要はありません。

(2) 修了見込者

出願時は、17～18 ページに記載した「成績証明書」、「修了（見込）証明書」及び「修士の学位授与（見込）証明書」を提出してください。

修了及び学位取得後速やかに上記『(1) 修了者』と同様の手順で、電子認証メールが教育支援課入試係に直接送信されるように申請してください。

(注意事項)

- ・入学時まで、本学で認証書のメールが受信できない場合は、入学を取り消すことがあります。

V. 重要事項

1. 出願及び受験等に関する注意事項
2. 受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の
事前相談
3. 入学時納付金
4. 長期履修制度
5. 安全保障輸出管理
6. 個人情報の取扱い

※各選抜に関する全ての事項は、出願者が学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、訂正等があれば本学ホームページ等にてお知らせします。

1. 出願及び受験等に関する注意事項

- (1) 一つの出願についての合否が発表される前に、本学の他の選抜試験には出願できません。
- (2) 出願書類等に不備があるものは受理しません。また、提出後の出願書類等の返還及び記入事項の変更も認めません。
- (3) 出願書類等は、証明書・推薦書等（志願者以外の第三者が作成すべきもの）を除き、本人が記入・作成すること。虚偽の事項を記入した、又は当然記入すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消します。
- (4) 出願資格について「見込」で合格し、それを充足した旨の証明書が提出できない場合、入学後であっても入学許可を取り消します。
- (5) 納入された検定料は、為替レート等による過払い金も含め、原則返還しません。ただし、次に該当した場合にのみ返還するので、入学月の末日までに教育支援課入試係へ連絡してください。
 - ① 検定料を振込済であるが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (6) 下記に記載の行為またはこれに準ずる行為があったと本学が判断した場合、不正行為とみなし、試験の中止や試験結果を無効とします。また、入学決定後にこれらの行為があったことが発覚した場合は、入学許可を取り消します。これら不正行為に対して本学は厳正な対応を取り、その結果として法的措置を講じることがあります。なお、これらに該当する場合、提出された出願書類及び検定料は返還しません。
 - ① 他者によるなりすまし受験行為
 - ② カンニング行為
 - ③ 他者との協力行為
 - ④ 本学の指示に従わない等、試験の公平性を欠く恐れのある行為
 - ⑤ 試験の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為
 - ⑥ 虚偽の出願書類を作成する行為又は当然記入すべき事項を記入しない行為
 - ⑦ 証明書・推薦書等を偽造する行為
 - ⑧ その他前各号に準ずると本学が判断した行為
- (7) 出願時に提出された顔写真、パスポート写真、在留カードの写真等は、入学後の本人確認の際にも使用します。
- (8) 本学の選抜試験に関する出願・手続きは、募集要項を熟読し、受験者本人の責任において行ってください。受験手続きや出願書類の作成、ビザ申請手続き、奨学金受給の手続き等について、手数料や代行料を請求して仲介・斡旋を行う業者又は代理人が存在し、合格を確約するなど偽って高額な手数料を請求するといった情報が寄せられていますが、それらの業者等と本学とは一切関係ありません。このような業者等を利用したことにより生じたトラブルや不利益について、本学は一切の責任を負いかねますので、十分注意してください。
- (9) 合格した試験の試験区分と異なる年・月に入学することはできません。出願手続をその都度行う必要があります。
- (10) 入学後、本学での学修場所は石川キャンパスに限ります。

2. 受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の事前相談

身体及び心身等に障がい又は病気等があり、受験上及び修学上において特別な配慮又は機器等の持ち込み等を必要とする場合は、出願締切日の1か月前までに下記の書類を教育支援課入試係に提出してください。

- (1) 申請書（下記事項を記載、様式任意）
 - ・氏名、専攻、試験区分、受験希望回、連絡先
 - ・障がい等の種類
 - ・受験及び修学に特別な配慮を必要とする事項
 - ・大学等でとられた特別措置
 - ・日常生活の状況
 - ・その他参考となる事項
- (2) その他の参考書類（身体障害者手帳、障害者手帳の写し等）

3. 入学時納付金

区分	金額	摘要
①入学料	282,000 円	・納付された入学料は返還しません。
②授業料	前・後期各	・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。 ・授業料の振替日は、前期分が毎年5月20日、後期分が毎年11月20日です。 ・年額での納付も可能です。
	年額	
③保険料 (3年分：学生教育研究災害 傷害保険・学生教育研究賠 償責任保険)	3,620 円	・左記2つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。

- (注) 1. 納付金についての詳細は入学手続き時に通知します。
2. 入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。
3. 国費外国人留学生は、納付金①②の納付を要しません。

4. 長期履修制度

本制度は、職務等の都合により大学での学修が制限され、標準修業年限（博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）での修了が困難であることが想定される場合で、かつ、当該学生の申請があった場合に、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修することをあらかじめ認めるものです。長期履修が許可された場合、認められた在学期間内において標準修業年限分の授業料で履修することができます。

制度の詳細については、本学ホームページ（トップページ→教育→教務に関する各種制度→長期履修制度）を参照してください。

なお、10月入学者で合格者発表日が9月中の者及び4月入学者で合格者発表日が3月中の者については、入学前に申請を受け付けることができません。入学後にも申請の機会がありますので、入学後に申請してください。

5. 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますので、留意してください。

6. 個人情報の取扱い

本学では、「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学個人情報管理規則」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学時提出いただく書類に記載されているすべての個人情報については、次の業務で利用し、これらの目的以外には利用しません。

- ・ 入学選抜及び入学手続に関わる業務
- ・ 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務
- ・ 入学料・授業料免除、奨学金申請等の修学支援に関わる業務
- ・ 入学・授業料及び寄宿料等の納入に関わる業務
- ・ 入学者データ等の統計処理業務
- ・ 同窓会活動への支援等に関する業務（同窓会活動支援のための同窓会への個人情報の提供も含む）
 - ※入学者のみ
- ・ その他、本学及び金沢大学（融合科学共同専攻に関するものに限る）の教育・研究、管理・運営上必要な業務

VI. 所定の様式

1. 入学願書（海外在住者対象特別選抜用）
2. 特定類型該当性の自己申告書
3. 誓約書
4. 学校教育等履歴書
5. 志望理由書

※所定の様式は本学ホームページ（トップページ→入学案内→所定の様式）からダウンロードし、入力してください。

特定類型該当性の自己申告書 / Self-Declaration Form of Applicability to a Specific Category

外国為替及び外国貿易法（以下「外為法」という。）に基づき、規制対象となる貨物の輸出や技術の提供について経済産業大臣の許可を受ける義務が課せられていることから、本学では「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規則」を定め、安全保障輸出管理に取り組んでおります。

安全保障輸出管理では、非居住者（日本入国後6月未満の学生等）への技術等の提供に加え、居住者（日本入国後6月以上経過した学生等）であっても非居住者の非常に強い影響下にある場合、そのような居住者（特定類型該当者）に対する技術等の提供についても「みなし輸出」として管理の対象となります。

このことから、本学への出願を希望する方には外為法に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いしております。ご自身の状況について、別紙のフローチャートを参照いただき、太枠内を記入の上、出願書類と併せてご提出ください。

Since any export of goods or transfer of technologies subject to the controls requires a license from the Minister of METI (the Ministry of Economy, Trade and Industry) based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (hereafter referred to as "FEFTA"), JAIST has established regulations for Security Export Control and we are working on it.

Transferring technologies, etc. to a none-resident (a student who has been staying in Japan for 6 months or less, etc.) and to a resident (a student who has been staying in Japan for 6 months or more, etc.) who is under the significant influence of a non-resident, (a person who falls under the specific category), are subject to control as "deemed export control".

We ask all applicants for admission to self-declare whether or not they are subject to the "deemed export control" based on the FEFTA. Please refer to the attached flowchart, fill in the form and submit it along with your application documents.

(注1 / Note 1) 外国人留学生は氏名を英字で記入すること。 / International students must write their names in English.

記入年月日 / Date	年 / Year	月 / Month	日 / Day
氏名 / Name (注1 / See Note 1)			
課程 / Program (Place a check mark in the appropriate box.)	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 / Master's Program <input type="checkbox"/> 博士後期課程 / Doctoral Program		
特定類型該当性の自己申告 / Self-Declaration of Applicability to a Specific Category (Place a check mark in the appropriate box.)	<input type="checkbox"/> 類型①に該当 / I fall under the category 1 <input type="checkbox"/> 類型②に該当 / I fall under the category 2 <input type="checkbox"/> 類型①②の両方に該当 / I fall under the category 1 and 2 <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない / I do not fall under any of the categories		

特定類型該当性の判断に係るフローチャート/ The flowchart to Check regarding Category

※「外国」とは「日本以外の国」を指します。

留学生等日本以外の国から来られる方の場合、自国も含みます。

/The term "foreign country" refers to countries other than Japan. In the case of individuals such as international students coming from countries other than Japan, it includes their own country as well.

類型①について/ About Category 1

外国法人等（外国大学を含む。）か外国政府等と雇用契約（契約の名称を問わず、時間的・場所的に拘束されるもの）又は取締役としての委任契約を締結しているか？
/Have you entered into an employment contract (i.e., temporal or physical obligation regardless of its name), a delegation contract as a board member with a foreign corporation (including a foreign university) or a foreign government?

NO

類型①に該当しない。
/You do NOT fall under Category 1.

YES

本自己申告書又は誓約書の提出先との契約に基づく指揮命令又は善管注意義務が、あなたの外国法人等又は外国政府等との契約に基づく指揮命令又は善管注意義務に優先するとの合意があるか？
/Is there any agreement that confirms the direction or the duty of care according to the contract with your organization in Japan (i.e., the destination of your letter of confirmation) supersedes the direction or the duty of care according to the contract with your foreign corporation or foreign government?

YES

類型①に該当しない。
/You do NOT fall under Category 1.

NO

本自己申告書又は本誓約書の提出先と、あなたが契約を結んでいる外国法人等はグループ企業の関係にあるか？（通常、大学等では該当しません。）
/Is the foreign corporation with which you have contracted a group company of your organization in Japan (i.e., the destination of your letter of confirmation)?

YES

NO

類型①に該当する。
/You MIGHT fall under Category 1.

類型②について/ About Category 2

外国政府等から、個人として（×大学として、研究室として）多額の金銭その他の重大な利益を得ている、または、得ることを約束しているか？
/Do you earn or agree to earn, as an individual not in the name of your university or laboratory, a large amount of money or other significant profit from a foreign government?

NO

類型②に該当しない。
/You do NOT fall under Category 2.

YES

その利益を金銭換算した場合、年間所得のうち25%以上を占めているか？
/Does the profit account for 25% or more of your annual income when converted into money?

NO

YES or 不明
/Unclear

類型②に該当する。
/You MIGHT fall under Category 2.

北陸先端科学技術大学院大学長 殿
To President of JAIST

誓約書 Pledge

私は、北陸先端科学技術大学院大学入学者選抜試験の出願にあたり、以下の不正受験行為を行わないことを誓約します。

- (1) 他者によるなりすまし受験行為
- (2) カンニング行為
- (3) 他者との協力行為
- (4) 本学の指示に従わない等、試験の公平性を欠く恐れのある行為
- (5) 試験の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為
- (6) 虚偽の出願書類を作成する行為又は当然記入すべき事項を記入しない行為
- (7) 証明書・推薦書等を偽造する行為
- (8) その他前各号に準ずると本学が判断した行為

万一、虚偽、不正が発覚した際は、受験資格、入学資格が取り消される場合があることを承知しました。

I hereby pledge that, in applying for the entrance examination of JAIST, I will not engage in any of the following acts of misconduct:

1. Impersonation, including having another person take the examination on my behalf
2. Cheating during the examination
3. Collaborating with others in any manner during the examination
4. Any act that may compromise the fairness of the examination, including failure to follow the JAIST's instructions
5. Recording the examination content in any form, including audio or video recording
6. Preparing application documents that contain false information or failing to provide information that must be entered
7. Forging certificates, letters of recommendation, or other similar documents
8. Any other acts deemed by JAIST to be similar to the acts listed above

I understand that if any false statements or misconduct are discovered, my eligibility for the examination or admission may be revoked.

記入年月日 : _____
Date this pledge was completed: _____
年 / Year 月 / Month 日 / Day

出願者氏名 (自署) : _____
Applicant's Name:
(Print in block letters) _____

学校教育等履歴書
Curriculum Vitae

※受験番号
Examinee's Number

入学希望年月 Semester for which you are applying	<input type="checkbox"/> 令和 8 年 1 0 月 October 2026	<input type="checkbox"/> 令和 9 年 4 月 April 2027			
志望課程 Intended program	博士後期課程 Doctoral Program	生年月日 Date of Birth	Year	Month	Day
氏名 Full name in English	Family	Given	Other(s)		

[学 歴 Educational Background]

		学校名及び所在地 Name and location of school	正規の 修学年数 Officially required number of years of schooling	入学及び卒業年月 Year and month of enrollment and graduation or completion	修学年数 Duration of attendance	学位・資格 Qualification (degree, diploma or certificate)
初等教育 Primary Education	小学校 Primary School	学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From Year Month 卒業 To Year Month	年 years and 月 months	
中等教育 Secondary Education	中学 Lower	学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From Year Month 卒業 To Year Month	年 years and 月 months	
	中学及び 高校 Secondary School	学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From Year Month 卒業 To Year Month	年 years and 月 months	
高等教育 Higher Education	大学 Undergraduate Level	学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From Year Month 卒業 To Year Month	年 years and 月 months	
	大学院 Graduate Level	学校名 Name 所在地 Location	年 years	入学 From Year Month 卒業 To Year Month	年 years and 月 months	
以上を通算した全学校教育修学年数 Total years of the schooling mentioned above			年 years		年 years and 月 months	

注) 上欄に書ききれない場合には、適宜別紙に記入して添付すること。 If the given space is not enough, attach additional sheets.

[職 歴 Professional Background]

勤務先及び所在地 Name and location of organization	勤務期間 Period of employment
	From To
	From To
	From To
	From To

注) 虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。
If it is discovered that an applicant has made false statements or has neglected matters to be stated on this curriculum vitae, the admission may be revoked even after enrollment.

[日本在住連絡人] 外国在住の方のみ記入してください。 For applicants living overseas, please fill out a contact person in Japan (if any).

氏名 Full Name	出願者との関係 Relationship to the applicant
住所 Address	
電話番号 Phone:	電子メール Email:

志望理由書

記入にあたっての注意：

博士前期課程・修士課程在学中に興味をもった研究や取り組んできた研究、得意科目、本学入学後の抱負及び大学院修了後に活躍したい分野などについて枠内に収まるように記述すること（自由記述）。

氏 名：

(外国人留学生は英字で記入)